

2006年2月10日

報道関係者 各位

『ベルメゾン生活スタイル研究所 スタイルモニターレポート Vol. 9』

20-50代の犬を飼っている女性399人に「ペット(犬)」について聞きました。

あなたにとってペットは? 1位:子供 2位:友達 3位:兄弟
ペットと一緒にのお墓に入りたい? YES:39.8% NO:55.2%
今後ペットにかかる費用は? 現状維持:73.9% 少し抑えたい:18.3%

- わが子のように可愛いペット。一緒にのお墓に入りたい愛犬家は約4割も。
それでも毎月の費用となると9割以上が現状維持もしくは少し抑えたい-

株式会社千趣会(本社 大阪市、代表取締役社長 行待 裕弘)が運営するベルメゾン生活スタイル研究所では、女性の生活スタイルや意識についての調査を随時行っております。

さて、ペットブームがここ数年加熱し、今では家族の一員としての地位を確固たるものに行っているようです。また最近では愛犬家向けのサービスやグッズも次々と出てきています。そこで今回は、愛犬家の方々にペットに対する思いと消費の実態について聞いてみました。

犬を飼っている人はほぼ3人に1人

今回の調査ではまず、20-50代のスタイルモニター1135人に現在犬を飼っているかどうかについて聞きました。その結果、はいと答えた人は35.2%。そのうち2匹以上飼っている人は約15%でした。

約半数が、ペットは自分にとって「子供のような存在」

ペットはあなたにとってどのような存在ですか、と聞いたところ、子供と答えた人が最も多く46.7%、次いで友達が20.4%、兄弟が17.8%と続きました。ペットと人間の関係は家族や友達と同じように親密な仲になっているようです。

ペット同伴のレストランやカフェ、半数以上が利用したい

このところ増えてきているペットと一緒に食事が出来るレストランやカフェを利用したことがある人は5人に1人。今後利用してみたいと思っている人は半数以上の56.8%にのびりました。どんな時も大好きなペットと一緒にいたいという愛犬家の気持ちの現れといえそうです。

ペットと一緒にのお墓に入りたいと思っている人は約4割

ペットと一緒に入れるお墓について、自分も一緒にのお墓に入りたいと答えた人は約4割。入りたくないとした人は6割弱となりました。意見はふたつに分かれましたが、今後は愛犬と人間が一緒に入れるお墓が増えていくかも知れません。

かかる費用は食費、医療費、美容費の順。今後については現状維持派が大多数

ペットにかかる費用の7割以上が食費ですが、アレルギーや高齢化などで医療費も今後増えていきそうです。また、一回の美容費に1万5千円以上かけるという愛犬家もいらっしゃいました。ペットに関する新しいサービスやグッズはどんどん増えていますが、愛犬にかかる費用については現状維持又は少し抑えたいと答えた人が9割以上にのび、愛犬といえどもサイフの紐は案外固いようです。

なお、今回の調査結果について詳しくはベルメゾン生活スタイル研究所ホームページ www.belle-style.com をご覧ください。

調査の方法:ベルメゾン生活スタイル研究所のスタイルモニターバンクに登録している20-59歳の全国の働く女性で有効回答数は1135人(内、犬を飼っている方は399人)。インターネットを使って2006年1月18日~1月22日に実施した。

本件に関する問い合わせ先

ベルメゾン生活スタイル研究所 坂本 典子 (n-sakamoto@senshukai.co.jp)
〒530-0035 大阪市北区同心1-6-23 TEL:06-6881-3043 FAX:06-6352-9286